

安心して出産に臨んでほしい 新しい命の誕生を全力で支える

院長 星野正道 × タレント つまみ枝豆

産婦人科 岩宿クリニック

群馬県みどり市笠懸町阿左美 1506 番地 3
URL: <http://iwajuku-cl.jp/>



群馬県みどり市内で唯一、出産ができる医療機関『岩宿クリニック』が2018年8月に開院した。妊婦健診、出産や里帰り分娩、婦人科検診などの産婦人科領域全般にわたって診療を行っている。本日はタレントのつまみ枝豆氏が同クリニックを訪問し、星野院長にお話を伺った。

—早速ですが、星野院長が医師を志されたのは、どういったきっかけがあったのですか。

私自身の経験がきっかけです。私は生後5カ月のころに生死に関わる病気で手術を受け、お世話になった医師の方に命を救っていただいたそうです。成長してからも、その傷痕が残っていたため、親に聞いて知りました。それで医療分野に関心を持ち、医師を志したのです。

—今度は、ご自身が人の命を救う側になりたいとお考えになったのですか。

業に至るまでにはどのようなご経験を？
栃木にある大学の医学部を卒業後、『桐生厚生総合病院』などいくつかの病院で勤務医として臨床経験を積みました。そして、『群馬県立小児医療センター』の院長、『群馬大学医学部附属病院』の助教授・院内講師を経て、生まれ故郷であるみどり市で『岩宿クリニック』を開業したのです。
—早くから、独立・開業をお考えだったのでしょうか。

医師になって10年目を迎えるころから将来のことを考えるようになり、開業は選択肢の1つとしてありました。そんな中、この場所にもともとあったタクシー会社が移転することになって土地が空いたんです。隣が私の実家なものですから、開業には好環境。生まれ育った街で開業できるなら、と踏み切りました。開業は生半可な覚悟でできることではありませんが、タイミング的に「今、この場所です」という気持ちになったのです。また当時、こちらみどり市には出産できる医療機関がなかったため、皆さん隣の桐生市の病院まで行かれていました。地元の方が地元で出産できるよう役に立ち

guest interviewer



「赤ちゃんが無事に生まれてくることは、奇跡——そんな言葉を聞くことがあります。それはあらゆるケースを想定して万全の体制でサポートする産婦人科があってこそなのでしょう。リスクを伴う出産もある中で常に最善を尽くし、命と向き合っておられる星野院長。これからみどり市で、新たな命の誕生を支えていって下さい」
つまみ枝豆・談



たい——という気持ちも、私を独立へと向かわせたと思います。

—地元の皆さんにとっては、待望の産婦人科クリニックだったことでしょうか。

今は少子化の影響で全国的に産婦人科の数が減っており、それは群馬県も同様です。プレッシャーでもありますが、必要とされていることには喜びを感じますので、ご期待に添えるように精一杯努力します。

—様々な診療科目がある中で、院長はなぜ産婦人科を選択されたのでしょうか。やはり減っているからですか。

産婦人科そのものに魅力を感じているんです。一番の決め手になったのは1人の患者さんを最初から最後まで診ることができるとい点ですね。たとえば胃ガンを患っている患者さんの場合、手術を行うのは外科で、抗がん剤治療を行うのは内科。2つの科で患者さんを診ることになります。私は、最初から最後まで患者さんを診たいと考え、産婦人科と血液内科という選択肢の中から最終的に産婦人科を選びました。産科は、妊婦健診、出産、産後のケアと妊娠が分かってから出産後に至るまでを支え、時には妊娠前の不妊治療や婦人科疾患の治療も行います。出産時に帝王切開などの外科治療が必要な場合も、外科ではなく産婦人科医の担当。女性にとって大きなライフイベントの一つである妊娠・出産に安心して臨んでもらえるように寄り添いたい。そして、子どもが生まれてからも産後ケアを通じて女性の健康を支えたいと考えました。また、産婦人科は唯一「おめでとー」と言える科であることも、産婦人科を選んだ理由の1つです。

—確かに、唯一ですね。それに、妊娠は病気ではありませんから、その点でも産婦人科は他科とは違いますね。

その通りです。ただ、出産には安産もあれば難産もあり、幸せなお産ばかりではなく、母体に危険が及ぶことや胎児が疾患を抱えて生まれてくることもあります。産婦人科医として、全力で母子の安全と健康を守りたい。無事に出産が終わって、母子共に健康であった時や、患者さんやご家族に喜んでいただけた時の喜びは言葉にできません。



—出産は奇跡であるという言葉に耳にすることがあり、院長のお話からその言葉の重みを感じます。

出産は命がけですから、多くの方が我が子に会える期待と共に不安を感じていらっしゃると思います。特に初産の方にとっては、未知の世界ですからね。「病は気から」という言葉もありますが、「お産も気から」と私は思っています。妊婦さんの不安を少しでも取り除き、リラックスした状態で出産に臨んでいただけるよう、丁寧な説明を行うことが大切です。そして、寛げる環境と安全な医療サービスを提供するために万全を尽くしています。

—この地域の女性の方々やそのご家族にとって、院長のそのお言葉はとても心

強いと思います。

やはり安心して出産していただくことが一番大事なので、「このクリニックなら安心」と思っていたいただけるような存在になりたいです。開業に際しては、一緒に頑張りたいという地元の人がスタッフとして集まってくれました。そうした方々のお気持ちはとてもありがたく、今は立ち上げ間もないので人数を絞っていますが、今後は状況に応じて増やしていければと考えています。また、私自身2歳の子どもを持つ父親なので、同じ子育て世代として妊婦さんやそのご家族と向き合い、一緒に子育てに取り組む産婦人科クリニックでありたいですね。

(2018年8月取材)

出産の前後にわたって万全のケアを

「地域に根差し、みんなが安心できる産婦人科クリニック」を理念とし、みどり市唯一の分娩施設・産婦人科クリニックとして開院した『岩宿クリニック』。出産においては、新しい家族となる赤ちゃんをどのように迎え入れるのか、どのような方法で出産するか、出産後は赤ちゃんをどのように過ごすかなど、一人ひとりしっかりとコミュニケーションを取りながらバースプランを立てるという。そうしたきめ細かいサポートと共に、施設内環境の整備についても配慮が行き届いている。待合室にはアロマの香りが漂い、妊婦がリラックスできるような工夫。病室にはセキュリティ対策のためICカードキーを採用。個室には家族や面会に来た人が寛げるよう「小上がりスペース」を設けた。さらに、産婦人科クリニックとしては珍しい岩盤浴スペースもあり、入院中に利用できるのが嬉しい。壁一面がミラーになったスタジオは、母親学級やイベントなどに活用していく予定だ。出産の前後にわたって、妊婦をケアするサービスと環境が『岩宿クリニック』には整っている。